

- 問1 古墳時代における渡来人の移動と技術伝来が、当時の日本列島の社会に与えた影響について述べた文章として、最も適切なものはどれですか。
(2025年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 青銅器と鉄器が同時に伝わり、金属器を使った道具の製造が初めて行われた。 | 2. 全国に国分寺や国分尼寺が建てられ、仏教を中心とした国家体制が完成した。 | 3. 大陸からの技術移転により、日本列島で初めて米作り（水稲耕作）が始まった。 | 4. 須恵器の製造技術や漢字・儒教などが伝わり、社会の技術や文化が大きく向上した。 |
|--|--|---|---|
- 問2 仏教が伝来し寺院が建立されるようになる以前の時代、各地の有力者が自らの権威を示すために築いた、土を高く盛り上げた巨大な墓を何といいますか。
(2022年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|---------|------|
| 1. 貝塚 | 2. 古墳 | 3. 環濠集落 | 4. 都 |
|-------|-------|---------|------|
- 問3 5世紀ごろに大和政権の政治的影響力が日本各地に及んだことを示す、近畿地方を起点に全国へ普及した円形と方形を組み合わせた形状の古墳を何と呼ぶか。
(2016年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|-------|-------|
| 1. 前方後円墳 | 2. 装飾古墳 | 3. 円墳 | 4. 方墳 |
|----------|---------|-------|-------|
- 問4 古墳時代における渡来人の活動と、日本社会に与えた影響について述べた文として、正しいものはどれか選びなさい。
(2021年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 中国の優れた制度や文化を吸収するために日本から派遣され、小野妹子らがその代表である。 | 2. 朝鮮半島から移住し、漢字や仏教の伝来、須恵器などの陶質土器の製作技術を日本に伝えた。 | 3. 平安時代に地方の政治が乱れる中、自らの土地を守るために武装し、後の武士の源流となった。 | 4. 九州北部の防衛のために東国から派遣され、唐や新羅による侵攻に備えて沿岸を警備した。 |
|---|---|--|--|
- 問5 3世紀後半から6世紀にかけて、日本各地の有力な豪族の墓として築かれた古墳のうち、上空から見ると円形と方形（四角形）を組み合わせた鍵穴のような形をしている、日本独自の形式を何と呼びますか。
(2018年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-------|-------|---------|
| 1. 前方後円墳 | 2. 方墳 | 3. 円墳 | 4. 装飾古墳 |
|----------|-------|-------|---------|
- 問6 5世紀ごろ、現在の大阪府や奈良県を中心とした勢力であるヤマト王権が、九州から関東地方に至る広い範囲に影響力を及ぼしていたことが、各地の出土品から判明しています。埼玉県にある稲荷山古墳から出土した鉄剣には、当時のヤマト王権の首長を指すどのような称号が刻まれていますか。
(2015年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 執権 | 2. 將軍 | 3. 大王 | 4. 天皇 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問7 古代の日本と朝鮮半島の国々との関係について、百済が大和政権に与えた影響を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。
(2020年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|--|---------------------------------------|--|
| 1. 大和政権と結びつき、仏教や儒教などの大陸文化を伝える窓口となった | 2. 大和政権に対して、魏志倭人伝に記されたような金印を授与して冊封関係を結んだ | 3. 唐と結んで、朝鮮半島を初めて統一するための軍事的な支援を日本に求めた | 4. 日本に鉄資源を供給することを主な目的として、九州北部に軍事拠点を置いた |
|-------------------------------------|--|---------------------------------------|--|
- 問8 5世紀後半、現在の埼玉県にある稲荷山古墳と熊本県にある江田船山古墳から、金象嵌（きんぞうがん）で文字が刻まれた鉄剣や鉄刀が出土しました。これらの出土品に共通して刻まれていた人物の名と、そこから推測される当時のヤマト政権（大和政権）の状況として適切なものはどれですか。
(2020年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 中大兄皇子の名が刻まれており、律令に基づいた地方支配が関東や九州まで及んでいたことがわかる。 | 2. ワカタケル大王の名が刻まれており、ヤマト政権の勢力が九州北部から関東地方まで及んでいたことがわかる。 | 3. 卑弥呼の名が刻まれており、邪馬台国の勢力が西日本から東日本一帯に広がっていたことがわかる。 | 4. 聖徳太子の名が刻まれており、天皇を中心とした中央集権体制が全国で完成していたことがわかる。 |
|---|---|--|--|
- 問9 3世紀ごろの中国大陸では、複数の勢力が対立して覇権を争っていました。この時期、日本の邪馬台国の女王である卑弥呼が使いを送り、「親魏倭王」の称号を授かったとされる国が含まれる時代の名称を選びなさい。
(2016年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|---------|---------|----------|
| 1. 五代十国時代 | 2. 三国時代 | 3. 戦国時代 | 4. 南北朝時代 |
|-----------|---------|---------|----------|
- 問10 古墳時代の文化において、古墳の頂上や周囲を囲むように並べられた、円筒の形や人間、家などの形を模した土製の焼き物を何といいいますか。
(2024年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|--------|-------|-------|
| 1. 埴輪 | 2. 須恵器 | 3. 土偶 | 4. 銅鐸 |
|-------|--------|-------|-------|
- 問11 5世紀の日本において、埼玉県稲荷山古墳や熊本県江田船山古墳から出土した鉄剣・鉄刀に銘文として刻まれていた大王の名として正しいものを、次の選択肢の中から1つ選びなさい。
(2025年 宮崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|----------|--------|---------|
| 1. ワカタケル大王 | 2. 中大兄皇子 | 3. 卑弥呼 | 4. 聖徳太子 |
|------------|----------|--------|---------|
- 問12 5世紀の倭の王が、中国の歴史書である『宋書』倭国伝において「高句麗が道をふさぎ、邪魔をしています」と皇帝に訴え、「安東大將軍」などの高い称号を得ようとした主な目的として最も適切なものはどれですか。
(2025年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 中国の律令制度を導入し、氏姓制度を廃止して国内の中央集権化を進めるため | 2. 中国から金銅の仏像を輸入し、日本国内に仏教を広めるための権威を得るため | 3. 朝鮮半島における軍事的な指揮権を中国の皇帝に認めさせ、国際的な優位に立つため | 4. 朝鮮半島南部から鉄資源を安定的に輸入するための、独占的な貿易許可を得るため |
|--|--|---|--|
- 問13 古墳時代の日本列島では、海外から高度な技術や文化を持つ人々が移り住み、社会の発展に大きな影響を与えました。高温で焼く硬い灰色の土器である「須恵器」の技術を日本に伝えた、朝鮮半島などから移住してきた人々を何と呼びますか。
(2018年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|--------|-------|
| 1. 遣隋使 | 2. 地頭 | 3. 渡来人 | 4. 防人 |
|--------|-------|--------|-------|
- 問14 古墳時代において、近畿地方から始まったとされる前方後円墳が、後に徳島県や香川県など近畿以外の地域でも築かれるようになりました。この「前方後円墳」が普及した主な要因として、当時の政治体制の仕組みから説明したものとして適切なものはどれですか。
(2023年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---------------------------------------|--|---|
| 1. 地方の豪族が大和政権に対抗するために、あえて近畿とは異なる独自の形式の古墳を築いたため | 2. 班田収授法によって、全国の農民が等しく古墳を築く権利を認められたため | 3. 大和政権と結びついた地方の豪族が、自らの地位や権威を示すために共通の形式で墓造ったため | 4. 大和政権が全国に国司を派遣し、地方の文化をすべて近畿のものに統一する政策をとったため |
|--|---------------------------------------|--|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 須恵器の製造技術や漢字・儒教などが伝わり、社会の技術や文化が大きく向上した。	古墳時代に朝鮮半島から渡来人が移住したことで、須恵器の製造技術に加えて漢字、儒教、仏教、機織などの高度な文化や技術が伝わり、日本の技術や生活文化が飛躍的に発展しました。
問2	答え 2 古墳	古墳時代、各地の有力者（豪族）は土を高く盛り上げた巨大な「古墳」を築くことで、その勢力を誇示しました。しかし、飛鳥時代に仏教が伝来して寺院が建立されるようになると、有力者の権威を象徴する対象は古墳から寺院へと変化し、巨大な古墳は次第に造られなくなっていました。
問3	答え 1 前方後円墳	前方後円墳は、円形と方形を連結させた日本独自の形状を持つ古墳です。5世紀にはその築造が最盛期を迎え、近畿地方から離れた地域でもこの形式が採用されたことは、各地の豪族が大和政権の支配体系に組み込まれていった過程を物語っています。
問4	答え 2 朝鮮半島から移住し、漢字や仏教の伝来、須恵器などの陶質土器の製作技術を日本に伝えた。	当時の日本にはなかった高度な知識や技術を持っていた人々に関する記述です。彼らが伝えた「須恵器」は、従来の土師器よりも高温で焼かれた硬い陶質土器であり、生活様式の変化をもたらしました。また、文字（漢字）の導入により、行政や外交などの記録が可能になり、大和政権の組織化が促進されました。
問5	答え 1 前方後円墳	3世紀後半の大和地方を中心に現れたこの形式は、円形の後円部と方形の前方部が合体した形状が特徴です。資料などで全長100mを超えるような大規模な古墳として紹介されるものの多くはこの形式であり、当時の王や有力な豪族の権威を象徴するものでした。
問6	答え 3 大王	5世紀後半のヤマト王権（大和朝廷）の首長は「大王（おおきみ）」と呼ばれていました。埼玉県の稲荷山古墳や熊本県の江田船山古墳から出土した鉄剣・鉄刀には、「ワカタケル大王」などの銘文が刻まれており、近畿地方を中心とするヤマト王権の支配が、既に関東から九州まで及んでいたことを示す重要な歴史的証拠となっています。
問7	答え 1 大和政権と結びつき、仏教や儒教などの大陸文化を伝える窓口となった	百済は朝鮮半島における軍事的緊張の中で大和政権と結びつき、その見返りとして先進的な技術や文化を日本へ伝えました。特に6世紀の聖明王による仏教の伝来は、その後の飛鳥文化の発展につながる歴史的な転換点となりました。他の選択肢にある半島統一は新羅の役割であり、金印の授与は中国の王朝との関係です。
問8	答え 2 ワカタケル大王の名が刻まれており、ヤマト政権の勢力が九州北部から関東地方まで及んでいたことがわかる。	埼玉県の稲荷山古墳と熊本県の江田船山古墳という、遠く離れた二つの地域から同一の王である「ワカタケル大王（雄略天皇）」の名を記した文字資料が出土したことは、当時の歴史を知る上で極めて重要です。この事実は、5世紀後半にはヤマト政権の政治的な支配力が、九州北部から関東地方にまで及ぶ広大なものになっていたことを裏付けています。この大王は、中国の歴史書『宋書』倭国伝に登場する「倭の五王」の一人である「武」と同一人物であると考えられています。
問9	答え 2 三国時代	3世紀の中国大陸では、魏、呉、蜀の三つの国が並び立ち、互いに勢力を争っていました。この時期を三国時代と呼び、日本の邪馬台国の女王・卑弥呼は、その中の一つである「魏」に使いを送り、金印や銅鏡を授かることで自らの権威を高めようとしていました。
問10	答え 1 埴輪	古墳の周囲や墳丘の上に立て並べられた焼き物を埴輪と呼びます。縄文時代に魔除けや豊かな収穫を祈って作られた「土偶」と混同されやすいですが、埴輪は古墳時代特有のものです。初期は円筒形が中心でしたが、次第に家、盾、人物、動物などの形をしたものが作られるようになりました。
問11	答え 1 ワカタケル大王	埼玉県の稲荷山古墳や熊本県の江田船山古墳からは、「ワカタケル大王（獲加多支鹵大王）」の名が刻まれた鉄剣や鉄刀が出土しました。これにより、5世紀後半にはヤマト王権の支配が関東から九州におよんでいたことがわかります。
問12	答え 3 朝鮮半島における軍事的な指揮権を中国の皇帝に認めさせ、国際的な優位に立つため	5世紀、いわゆる「倭の五王」は中国の南朝（宋など）に使者を送り、皇帝から「將軍号」などの称号を授けられました。これは国内での支配権を固めるだけでなく、当時対立していた高句麗に対抗するため、朝鮮半島における軍事的な指揮権を国際的に認めさせ、外交上の軍事的優位を確保する狙いがありました。
問13	答え 3 渡来人	朝鮮半島や大陸から日本列島へ移り住んだ渡来人は、須恵器の製作技術のほか、鉄器の加工、養蚕、織物、漢字や儒教といった高度な技術や文化を伝えました。これらの技術はヤマト政権の勢力拡大や、当時の有力豪族の経済力の向上に大きく貢献しました。
問14	答え 3 大和政権と結びついた地方の豪族が、自らの地位や権威を示すために共通の形式で墓を造ったため	前方後円墳の広まりは、大和政権を中心とした政治的な秩序が形成されていたことを裏付けています。地方の豪族は大和政権から認められることで自らの支配権を正当化し、その象徴として大和政権の王と同じ形式の古墳を築きました。班田収授法や国司の派遣は、後の律令時代の制度であり、古墳時代の大和政権による統治体制とは異なります。